

2014 年度事業計画

基本方針

Activation 2014

国民歯科医療に不可欠な職業である歯科技工士のナショナルセンターを『国民に信頼され尊敬される組織』として活性化させるために、2014年度は、日技の新たな価値創造プロセスの元年にしよう。

そして、このナショナルセンターの『めざす姿』の実現に向けて、日技、地域組織、会員などが共有すべき基本理念として「医療関係従事者として国民歯科医療の安全と安心に貢献する」、「歯科技工士一人ひとりが参加して職域を支える」、「今を生きる世代と次の世代の安心を確保する」を掲げて取り組もう。

1. “日技新発展『7』プラン”の実行

- 今年度からおおむね5～6年を期間とする中長期総合計画に沿った工程表によって、単年度計画を策定し実行する。
- 計画策定の趣旨を理解してもらうための啓発活動を積極的に行う。
- 『7』プランの実現に向けて、必要に応じて各専門部会を設置し、効率的に取り組む。
- 既存の施策・事業は、『7』プランとの整合性を図りながら推進する。

2. 公益社団法人としての堅実な会務運営

- 公益社団法人として誇りをもって会務運営にあたり、社会に貢献する有用な職能団体として信頼を得るように努める。
- 役員と事務局が一体となって、公益目的事業を真摯に執行する。
- 地域組織会員である歯科技工士会と情報を共有し、適切な運営に努める。
- 未法人組織の意向確認と法人取得の実現に協力する。

3. 歯科技工士の環境整備に向けた新たな展開

- これまでの歯科技工士の環境整備の手法を強化するため、新たに設ける『総合政策審議会』からの実効性のある戦略提示を踏まえた活動を展開する。
- 歯科技工士という職業と、その解決すべき懸案を国民にアピールする手法を検討する。
- 歯科技工士の環境整備には、バックグラウンドとして組織拡充は必要不可欠であることから、喫緊の課題として危機感を持ってあらゆる対策を検討する。

なお、来る2015年度は、日本歯科技工士会創立60周年を迎えることから、その地域交流記念事業の挙行に向けた対応を開始する。